

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.4
Q1 室内環境					0.40		-		3.0
1 音環境				3.0	0.15	-	-		3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.83	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.17	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				2.9	0.25	-	-		2.9
3.1 屋光利用				3.4	0.30	-	-		
1 屋光率				3.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 屋光利用設備		トップライトの採用		4.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				2.0	0.12	-	-		
1 屋光制御				2.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度				3.0	0.18	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.40	3.0	-		
4 空気質環境				3.4	0.25	-	-		3.4
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.6	0.30	-	-		
1 換気量		教育センターは建築基準法、建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上。		5.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている。		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.5
1 機能性				3.7	0.40	-	-		3.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	0.14	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.14	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.72	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.8	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務所の天井高さは、2.7m以上としている。		4.0	0.14	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースと自販機設置予定スペースがある。		5.0	0.14	-	-		
3 内装計画		建物コンセプトに基づき内装の色調はグレーや白等の低採度の色合いとした。		5.0	0.72	-	-		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		汚れの付きにくい建材の選定		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水SGP(D)、汚水排水VP(B)、通気VP(A)、Eは不使用。		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		

	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6
3.1	空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	3.9m以上の階高を確保	5.0	0.25	3.0	-	
	2	空間の形状・自由さ	[壁長さ比率]=0.081<0.1	5.0	0.75	3.0	-	
3.2	荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3	設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	マシンハッチの設置や空調機置場手摺取り外しが可能	4.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.8
1	生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		周辺のけやき橋の視点場から良好な景観を形成している。	5.0	0.40	-	-	5.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用		トップライトを導入。	4.0	0.10	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.66、LED照明設備を採用。	4.9	0.50	-	-	4.9
4	効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
	集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	主要な用途別の消費電力量を計量している。	4.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.3
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	自動水栓に加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。OA707-も採用している。	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
		1	消火剤	-	-	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
		3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮		LCCO2排出率76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
	2.1	大気汚染防止	ガス設備不使用	5.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
		1	騒音	3.0	0.33	-	-	
		2	振動	3.0	0.33	-	-	
		3	悪臭	3.0	0.33	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		2.3	0.40	-	-	
		1	風害の抑制	2.0	0.70	-	-	
		2	砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
		3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	
		2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	